

株式会社 イヌイ鉄工所

大型機械部品や高耐摩耗性の
特殊鋼などを切削加工

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



自動刃物送り機構付き正面旋盤で高難度の加工に対応

主な事業内容

金属加工

主な取引先(納入先)

環境施設・リサイクル機械メーカー、
耐摩耗溶接製品メーカー

主な製品

リサイクル機械用部品、
耐摩耗鋼製品、鋼球製造用鑄物盤業務
内容

プラントにも部品供給
小径品にも対応予定

イヌイ鉄工所はマシニングセンタやフライス盤、旋盤など多様な工作機械を用いて金属の切削加工を行う。リサイクル施設をはじめ発電施設や製鉄所など、大型機械部品の製造で高い実績を誇る。創業は昭和26年。元々は鋼球製造用の鑄物盤や精密部品の製造を手がけていた。鋼球製造用の鑄物盤は硬度がきわめて高く、その切削技術が評価され、耐摩耗性が高い特殊鋼などを扱うメーカーから加工を依頼されるようになった。平成3年に大型CNC旋盤を導入。今後は小型・中型のCNC旋盤の導入を予定しており、「小径品や量産品にも対応していく」と乾順一社長は意気込む。

強み
刃物の土台から
自作して柔軟に対応

これまで、刃物が割れるほど素材が硬い、加工のための固定箇所がない、製品が大型かつ極端に薄い、加工範囲が機械のサイズを上回るといった難題に対応してきた。こうした実績が、同社の評価につながっている。保有設備にはマシニングセンタに加え、複雑形状の

対象物の加工に適した正面旋盤も備える。また、治工具類を内製しているのも強みだ。「刃物の土台から自作することで対応力が格段に広がった。その結果、お客様から加工の相談を多くいただき、それが受注拡大につながっている」と乾社長は語る。

技術
継承
多能工育成を品質や作業
効率向上にもつなげる

人材育成や技術継承にも力を入れる。多能工の育成に向け、段階的に各担当の配置を変更しつつ、汎用機やNC工作機械まですべての加工機に触れる機会を設けている。また、これには自身が担当する前後の工程を理解することで、品質や作業効率の向上につなげる狙いもある。技術継承の際は、ベテラン社員の知見や過去の失敗事例の共有に加えて道具が生まれた背景や加工方法の変遷なども説明することで、より深い理解を促す。そして現在、力を入れてるのが作業単価の「見える化」。各技術者のコスト意識の向上として成果が表れており、乾社長がめざす技術者の待遇とやりがいの向上につながっていく。

社長あいさつ

代表取締役社長
乾 順一さん

代表を引き継ぐ際、会社規模も財務も大きくするという目標を掲げました。単純な目標かもしれませんが、規模拡大は雇用を生み、財務強化は従業員の待遇を厚くし、品質向上や安定供給にもつながります。ひいては、地域社会や長年支えてくれた人々への貢献にもなります。今もこの目標を掲げ、信頼される会社づくりにまい進しています。

主な保有設備

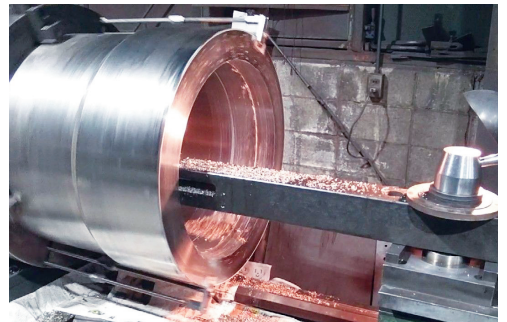
- マシニングセンタ MILLAC561V オークマ製ほか 2台
- CNC旋盤 SL-75 DMG森精機製 1台
- 正面旋盤 LGF-1600×1500 山川製作所製 1台
- 汎用旋盤 DM112×200ほか 大日金属工業製ほか 3台
- ラジアルボール盤 YR3-115 吉田鉄工所製 1台

大阪
05

住 所 / 〒581-0054
八尾市
南亀井町5-2-31
T E L / 072-992-2233
F A X / 072-924-3786
創 業 / 昭和26年10月
設 立 / 平成2年12月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 5名



刃物を土台から製作している様子



大型部品の加工も短納期で対応



<https://inuitekkousho.jbplt.jp/>